

沖縄・奄美 世界自然遺産に

本島北部 西表 奄美 徳之島

希少固有種の宝庫

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の諮問機関が、亜熱帯の森に貴重な動植物が生息する「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」(鹿兒島、沖縄)を世界自然遺産に登録しようとしたことが10日、分かった。

日本の世界遺産は文化遺産を含めて現在23件。自然遺産は11年の「小笠原諸島」(東京)に続き5件目となる。

2018年に登録延期勧告を受け、いったん政府推薦を取り下げての再挑戦だった。20年のユネスコ世界遺産委員会が新型コロナウイルスの影響で延期されたため、さらに1年遅れての登録実現となる。

鹿兒島県の奄美大島と徳之島、沖縄本島と西表島の4島にまたがる推薦区域は計約4万3千畝。大半を森林が占め、アマミノクロウサギやイリオシキなどの理由で登録延期を勧告した。

政府や地元自治体は、米軍から返還されていた沖縄本島の訓練場跡地などを編入して区域を再編。外来種対策なども強化して、19年2月に再推薦した。

新緑が広がるやんばるの森 国頭村

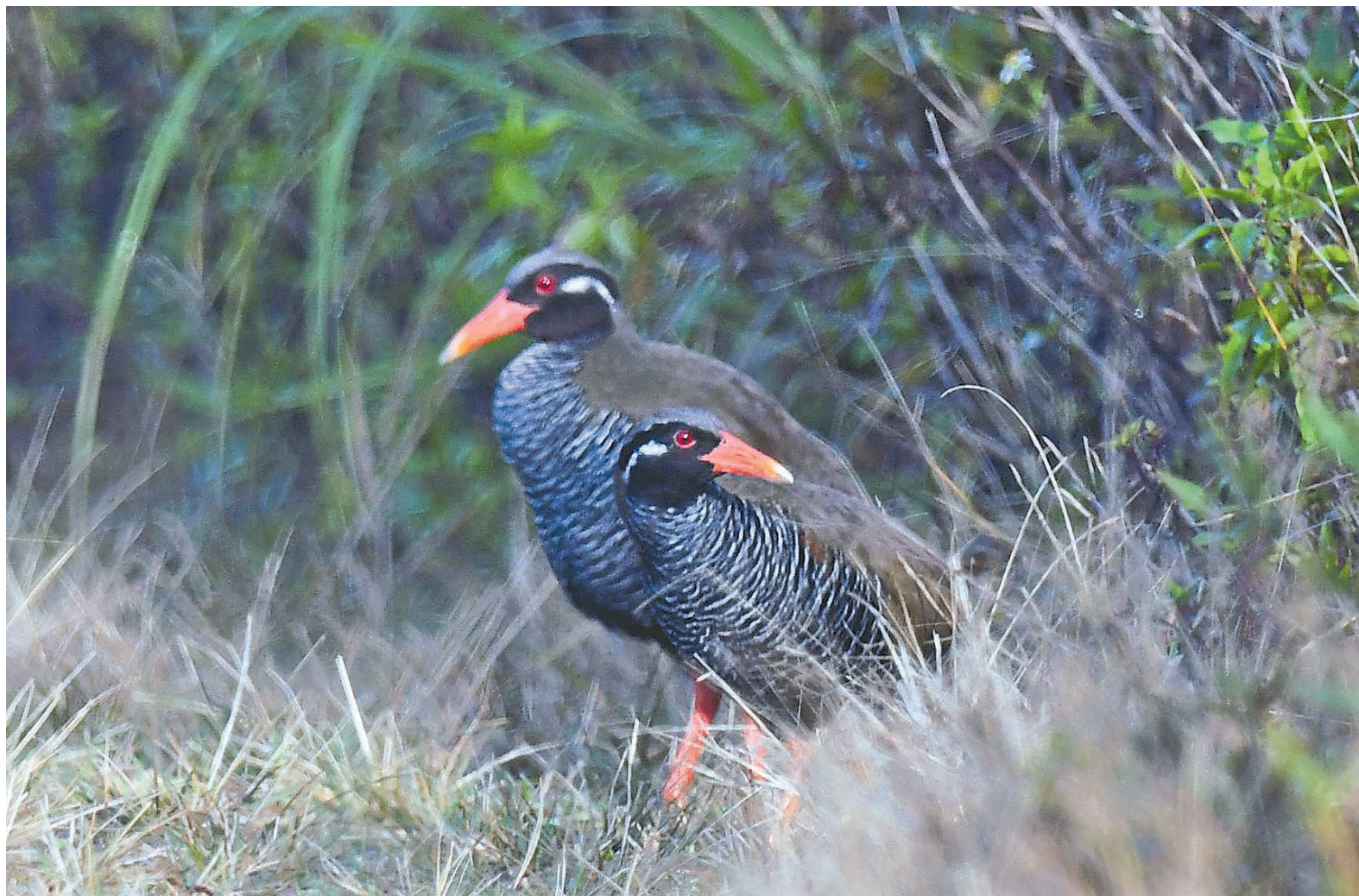


ピナイサーラの滝の上から見下ろす緑豊かなマングローブと船浦湾 西表島上原



21年の世界遺産委は、奄美・沖縄など20年に審査予定だった候補と21年分とを合わせて審査する。21年分の文化遺産候補として推薦している「北海道・北東北の縄文遺跡群」(北海道、青森、岩手、秋田)についての諮問機関の勧告は、今月後半に出るとみられる。

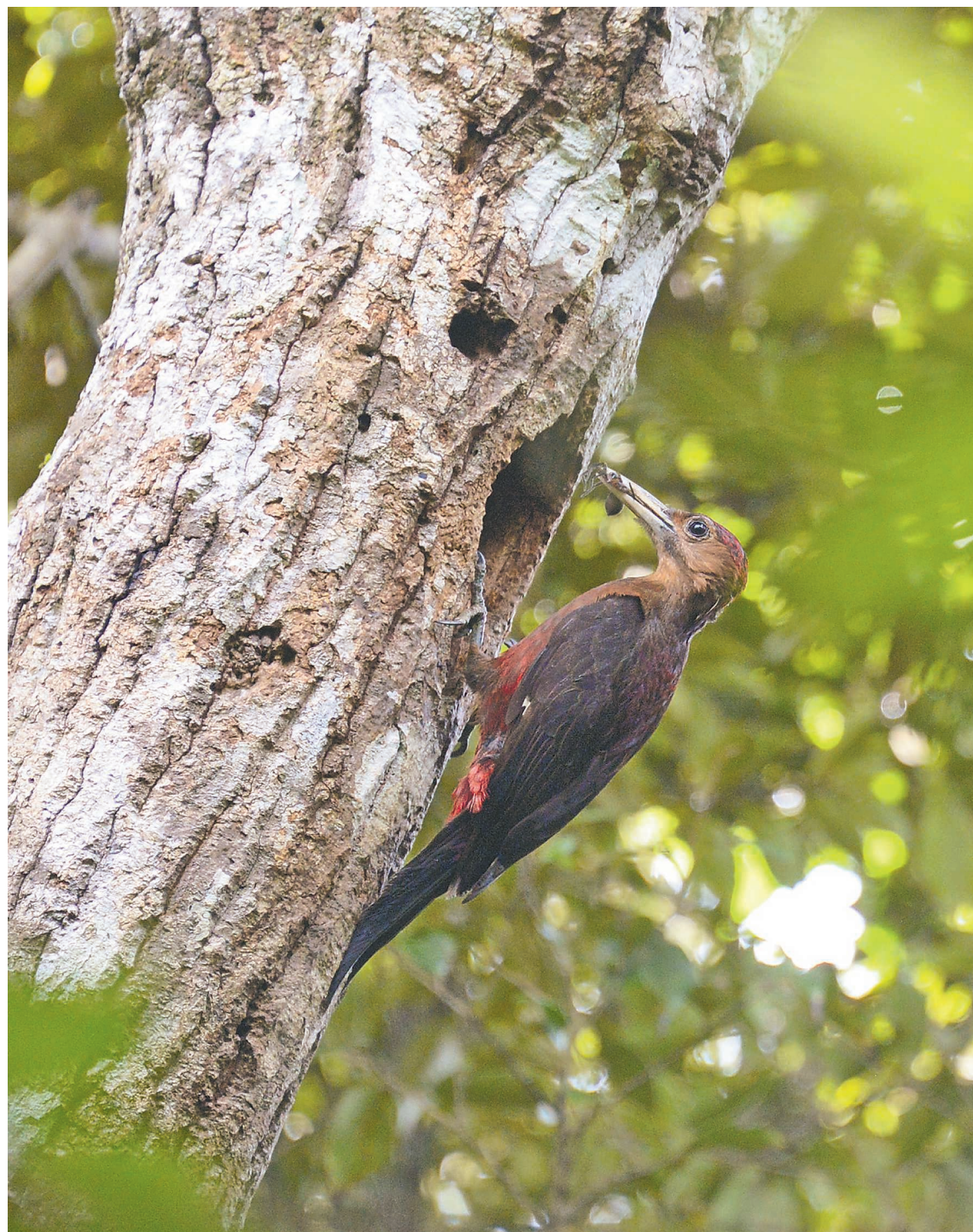
ヤンバルクイナ



繁殖期につがいで行動するヤンバルクイナ
=2020年2月、国頭村

ノグチゲラ

餌を巣に運ぶノグチゲラ
=2018年5月、東村



沖縄の自然 世界の宝

リュウキュウヤマガメ

森の茂みで顔をのぞかせる国指定天然記念物のリュウキュウヤマガメ=2019年12月、国頭村



カンムリワシ

勇壮に飛び立つ国指定特別天然記念物のカンムリワシ=2020年3月、西表島上原

沖縄・奄美、高温で湿潤

鹿兒島、沖縄両県にまたがる「奄美大島、徳之島、

沖縄島北部および西表島」の4島は、暑い夏と温和な

冬の亜熱帯気候に属する。政府の推薦書などによる

と、暖流の黒潮と季節風の影響を受け湿潤な環境でも

あり、常緑樹の森林に多くの固有種が生息。奄美大島

や西表島などの河口にはマングローブ林が広がる。

鹿兒島の奄美大島と、その南西約45キロに位置する徳

之島には、国の特別天然記念物で短い手足が特徴的な

アマミノクロウサギが生息する。奄美大島には、瑠璃

色の羽が鮮やかな鳥類ルリカケスや、緑色の体に金色

に輝く斑点から「日本一美しいカエル」として人気があるアマミイシカワガエル

などもある。

沖繩は「やんばる」と呼ばれる本島北部と、島の約

90%が森林の西表島が候補地。やんばるは「山々が連

なり、森の広がる地域」を意味し、鳥類のヤンバルク

イナやノグチゲラが生息する。西表島ではイリオモテ

ヤマネコが有名だ。

本島北部の候補地には米軍北部訓練場の跡地も含

む。米軍のものとみられる空包やドラム缶など廃棄物

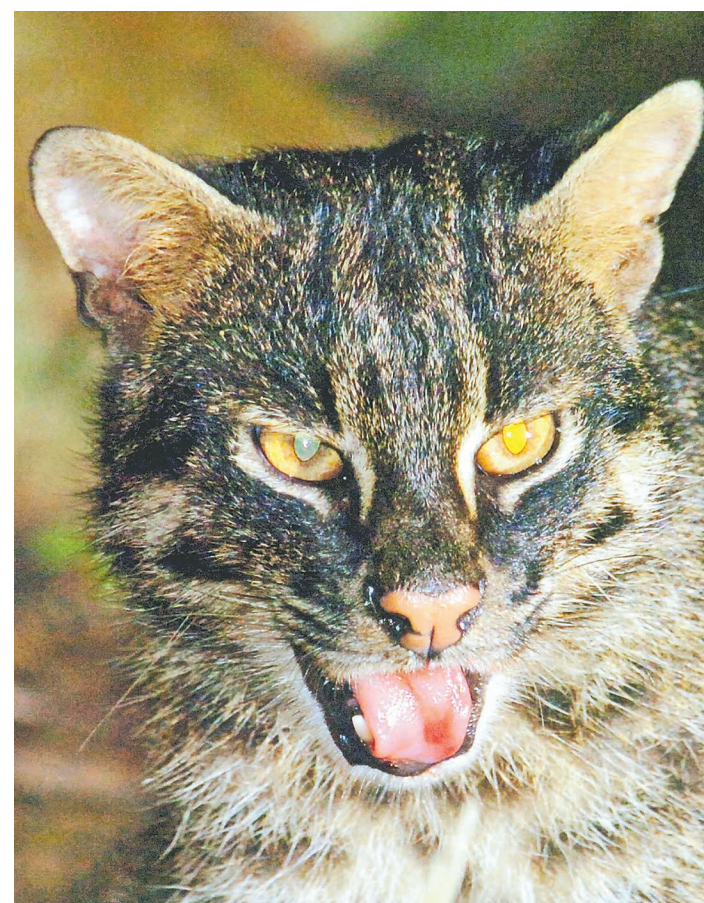
が多数見つかり、地元関係者からは「世界自然遺産に

ふさわしい場所と言えるのか」との声も上がっていた。

4島の候補地は計約4万3千畝に及ぶ。国連教育科

学文化機関(ユネスコ)の諮問機関・国際自然保護連

合(IUCN)のレッドリストに記載される絶滅危惧種は95種に上るとい



イリオモテヤマネコ

世界中で西表島にしか生息しないイリオモテヤマネコ